

「嶺北はおいしいもんだらけ」と地域をPRする  
高知大の学生(本山町本山の「さくら市」)



## 嶺北の食材 加工品でPR

高知大生きよう販売 本山町「さくら市」

【嶺北】長岡郡本山町の直販所「さくら市」で20日、高知大学地域協働学部3年生4人が、地元食材をPRするため加工品を販売する。19日にはコロッケなどの仕込みに精を出した。19日の仕込み作業では、住民が「あかうしのコクがすごいがやき」米粉のきめ細かさは天下一品などをPRする。井関勇登さん(20)は「原価や衛生面の管理に苦勞したけど、素材の味を生かした商品ができました」と納得の表情だった。

4人は2年前から地域学習の一環で、住民とともに嶺北地域の特産品を使った商品開発を手掛けてきた。今回は、土佐あかうしや米粉、ピーマンや米ナスなどを使ったクリームコロッケやグラタン、かき揚げを販売する。

20日の販売は午前10時から売り切れまで。コロッケとグラタンは11、12月の2カ月間、さくら市内で期間限定販売するという。

(竹内将史)